



神奈川版

2021年3月号

月間「不届」

№561付録

編集兼発行人

宗形孝至

治安維持法犠牲者 国家賠償要求同盟

神奈川県本部

〒221-0823

神奈川県横浜市神奈川区二つ谷町2-9

TEL/FAX 045-314-1766

E-mail chian.kanagawa@spice.ocn.ne.jp

全国大会成功に向け会員拡大に力を尽くそう

2月度県本部常任理事会で方針確認

2月24日（水）午後、2月度の県本部常任理事会を開催しました。この会議には中央本部から増本一彦会長が参加され、神奈川県同盟の活動、特に全国大会に向けて会員拡大で前進に転ずるよう激励を受け、活発な論議を行いました。

2年前の大会から県本部全体での会員の後退分を取り戻し、新たに到達で大会を迎えることの重要性が議論されました。安倍・菅政権の強権政治、行政の私物化などを許さず、市民と野党の共闘で新しい政治を展望するとき、国賠同盟の果たす役割が市民運動の中で大きくなっていることを確認しました。

県本部では前大会から34名後退しています。これを取り戻し、6月の全国大会を新たな県本部の到達で迎えること、そのためには各支部の到達に即して目標を決め、力を尽くすことを確認しました。

会議では各支部の状況が報告されました。川崎支部は毎月新会員を迎える目標で会員拡大に取り組み、総会以降2名の会員を迎えました。会員になつていなかつた市会議員さんにも働きかけ、また日常のつながりを生かして増やしています。国会請願署名では建築関係の団体に署名の協力を申し入れた。

湘南支部はこの間、体制確立と会費納入の努力をしてきました。役員体制の構想もほぼ整いつつあり、若い女性事務局員含め新たな前進を期しています。

伊勢原市会議員（36歳）の投稿の紹介がありました。（全文を3面に掲載）

県央支部からは、支部ニュースに川添康大二祭」が会館の閉鎖で中止となつたことについて、伊勢原では公的会館が閉鎖されたが、周辺の会館は閉鎖されていないことを軽視せず論議しています。

横浜中央支部では労組・民主団体を訪問して国会請願署名の協力要請を行っています。

横浜西部支部では、4月29日にデジタル化問題で学習会を開催し、関心ある人たちに参加を呼びかけ会員拡大に取り組みます。（4面に案内）

多喜二祭の中止に伴つてたの発送、支部体制の再構築に向けて努力が始まりました。

横浜東部支部、南支部でも会費納入、不届の発送、支部体制の再構築に向けて努力が始められましたが報告されました

（4面に詳細を掲載）



「若者の政治離れ」は、こうやつて変えられる

県央支部 ニュースより

川添康大伊勢原市議(36歳)からの提言

相談者からは「子育て世代でも、学校の問題や子育ての悩みなど多くあるが、『解決できるの』と『どこに相談してよいのか』『どうに相談してよいのか』など多くの人が、『『判らない人はたくさんいる』『受け皿があれば良いな、それが広がれば市も変わっていくの』『『神』でなかつた歴史的事実でないか、『政治を身近に感じてもらう』『第一歩であり、相手を置き去りで対話していないか、今一度、胸に手を当てて考えてみる必要を感じます。』など多くの人がいるということ』『『本とわたし』欄に県本部常任理事の嶋崎さんが、す。多喜二の小説『オルグ』と福元館との出会いなど短い文章の中に嶋崎さんの思いが伝わっています。』など多くの人がいるということ』など多くの人がいる」と簡単



上写真・読売新聞に掲載された記事です。

私と治賠同盟

湘北支部 鶴井 博

「神」でなかつた歴史的事実でないか、『政治を身近に感じてもらう』『第一歩であり、相手を置き去りで対話していないか、今一度、胸に手を当てて考えてみる必要を感じます。』など多くの人がいるということ』など多くの人がいるということ』など多くの人がいる」と簡単

私は、一緒に教育委員会や学校との話し合いの場を設定し、現状認識や具体的な対策を出すよう求め、解決に向けて動いてきました。そのなかで、解決するまで動いてくれる人がいるということ』など多くの人がいる」と簡単

この間、「若者の政治離れ」と言われますが、一方で、要求がかみ合えば、一気に変わると感じます。

学校での子供のいじめ問題について悩んでいたある夫婦は、学校の対応に納得がいかず、しかし、どこに相談していいかわからず、私のところに相談に来られました。

川添康大伊勢原市議(36歳)からの提言

相談者からは「子育て世代でも、学校の問題や子育ての悩みなど多くあるが、『解決できるの』と『どこに相談してよいのか』など多くの人がいる」と簡単

「神」でなかつた歴史的事実でないか、『政治を身近に感じてもらう』『第一歩であり、相手を置き去りで対話していないか、今一度、胸に手を当てて考えてみる必要を感じます。』など多くの人がいる」と簡単

「本とわたし」欄に県本部常任理事の嶋崎さんが、す。多喜二の小説『オルグ』と福元館との出会いなど短い文章の中に嶋崎さんの思いが伝わってきます。

戦前の歴史に学ぼう！「特攻最後の証言から」

県本部会長 宗形 孝至

と題した著書が発行されました。陸軍の少将の父を持ち、兄の忠正氏は慶應大学で、弟の忠熊氏は京都帝国大学からの学徒出陣でした。兄弟は1943年、特攻隊に志願し、そろって横須賀の武山海兵団に入団しました。

兄の忠正氏は、学生時代に「自分はこの戦争には反対だから、徴兵には応じませんなどと言つたとすれば、それは世の中全体を敵に回すのと同意

語で、死ぬことよりも難しいことだったのだ。そんなわけで徴兵に応じたことを非難することはあまりにも酷ではないか」と述懐しています。

戦前「日本の主権者は、上陸地点の海中に潜み押

賀の鎮守府から久里浜の対潜水艦学校に配属され、野比海岸にある第〇〇突撃隊」の「伏龍隊」に所属。この部隊は予想される敵の本土上陸作戦に際し、潜水服を着用して、

忠正氏は神奈川県横須賀町にある「臨時魚雷艇訓練所」の「震洋隊」に配属され、アメリカ潜水艦の魚雷攻撃で沈没し、艦の中を3時間漂うなど、一生を得、復員すること

ができました。

いままた日米軍事同盟の下で、先制攻撃戦略の軍備拡張や、「憲法改正」が企画され、検察庁への介入や、反動的な政治動向に対し、自からの戦争体験を語り、同じ道を歩

(河出書房)

弟も、九州長崎県の川棚町にある「臨時魚雷艇訓練所」の「震洋隊」に配属され、アメリカ潜水艦の魚雷攻撃で沈没し、艦の中を3時間漂うなど、(弟)海の中を3時間漂うなど、(弟)薄氷を踏む思いで九死に一生を得、復員すること

ができます。

いままた日米軍事同盟の下で、先制攻撃戦略の軍備拡張や、「憲法改正」が企画され、検察庁への介入や、反動的な政治動向に対し、自からの戦争体験を語り、同じ道を歩

ができます。

いままた日米軍事同盟の下で、先制攻撃戦略の軍備拡張や、「憲法改正」が企画され、検察庁への介入や、反動的な政治動向に対し、自からの戦争体験を語り、同じ道を歩

ができます。

いままた日米軍事同盟の下で、先制攻撃戦略の軍備拡張や、「憲法改正」が企画され、検察庁への介入や、反動的な政治動向に対し、自からの戦争体験を語り、同じ道を歩

ができます。

いままた日米軍事同盟の下で、先制攻撃戦略の軍備拡張や、「憲法改正」が企画され、検察庁への介入や、反動的な政治動向に対し、自からの戦争体験を語り、同じ道を歩



お礼と報告 左は、カンパをくださった方へのお礼のハガキ

【】案内

春の学習会

横浜西部支部

「デジタル化社会」

光と影：

経済研究者の友寄英隆さん

りにいくと思われています。しかし、デジタル技術の基本的な原理そのものは、分かつてしまえば、大変単純なことです。決して難しいと敬遠する必要はありませんので、ぜひ、講演を聞かしていきましょう。

(雑誌「経済」元編集長)のお話を聴きます。

友寄さんは「しんぶん赤旗」

いて学び、これから的生活に生かしていきましょう。

横浜西部支部では、県内各支部同盟員や同盟員外の方々にも

2月9日付けから、「高度な

「情報化社会」へ』・『「19世紀の労働」再現も』など、5回にわたって寄稿されました。

デジタル化の問題は、技術的な知識が前提になつてゐるため

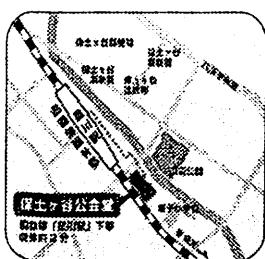
に、一般的には、なかなか分か

ります。

参加を呼びかけて

います。

4月29日(木・祭)午後1時開場



【同盟県本部日程】

常任理事会

3月24日(水) 13時30分

横浜市瀬谷区橋戸1-18-5

事務局長 蟻崎 澄子

神奈川七沢多喜二祭実行委員会事務局一同

多喜二ゆかりの七沢を知らせ

歴史と文学を広める会会長 相原 進

日 時 4月29日(木・祭)午後1時開場

開 場 保土ヶ谷公会堂会議室(地図は右に)(資料代)

会 費 500円(資料代)

講 師 友寄英隆さん(雑誌「経済」元編集長)